



King's Day (Netherlands) : 授業アイデア (簡単版)

国王の日（オランダ）をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 教室フリーマーケット：英語で売り買いしよう

中学・30分

🎯 How much is this? / It's ~. など買い物の表現を使って、やり取りする。

1. 国王の日のフライマルクトの写真や英文を見て、どんな日かを確認する。
2. 一人ひとりが「売りたい物」のカードを3枚作り、値段（ユーロ）をつける。
3. 売り手と買い手に分かれ、How much is this? / Can I have this one? / Here you are. で売り買いする。
4. いちばん売れた物と、その売り文句をクラスで紹介する。

2. 王さまの誕生日と祝日：オランダと日本をくらべる

高校・40分

🎯 国のトップの誕生日と祝日の関係を調べ、英語でくらべて発表する。

1. 国王の日の日付の変化（8月31日→4月30日→4月27日）を年表にする。
2. 日本の天皇誕生日の日付の変化を調べて、同じ形の年表を作る。
3. ベアトリクス女王が母の誕生日を使い続けた理由を英語で説明する。
4. Both countries ~. But in the Netherlands, ~. の形で発表する。



1. 教室フリーマーケット：英語で売り買いしよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／30分

Class _____ No. _____ Name _____

🎯 ねらい

国王の日のフライマルクト（自由市場）を知り、How much is this? / It's ~ euros. / Can I have this one? / Here you are. を使って、売り手と買い手のやり取りができる。

📋 準備

- 基本セット p.1（読解：The Day the Netherlands Turns Orange）の第4段落と、英語ページの音声
- 「売りたい物」カード用の白紙カード（1人3枚。絵・品名・値段を書く欄）
- おもちゃのユーロ紙幣（1人10ユーロ分。1ユーロ×10枚など）
- オレンジ色の紙で作った帽子やバッジ（売り手の目印・あれば）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	オレンジ色の服を着た人々の写真を見せ、Why is everyone wearing orange? と問う。4月27日は国王ウィレム＝アレクサンダーの誕生日で、国じゅうがオレンジに染まることを伝える。英語ページの音声で第4段落を聞かせ、この日だけはだれでも市に許可をとらずに道ばたで物を売れること、アムステルダム公園では子どもたちが古いおもちゃを売ることを確認する。	写真と音声から、国王の日がどんな日かをつかむ。子どもも物を売れることを知る。	"Look! Why is everyone wearing orange?" "It's King's Day in the Netherlands." "On this day, anyone can sell things on the street." "Children sell their old toys. Today, you can too!"
展開1	7	カードを1人3枚配り、使わなくなった物を想定して、絵・英語の品名・値段（1～5ユーロ）を書かせる。会話文でエマが古いマンガを1ユーロで売っていることを例に示す。値段は euro / euros の使い分けを確認する。	売りたい物のカードを3枚作り、品名と値段を英語で書く。	"What do you want to sell? Make three cards." "Draw a picture and write the name." "Emma sells her old comics for one euro." "One euro, two euros. Be careful."
展開2	12	売り買いの表現を板書してコーラス練習したあと、クラスを売り手と買い手に半分ずつ分ける。買い手は10ユーロ分の紙幣で自由に買い物をする（5分）。笛の合図で役を交代し、もう5分行う。売り手は売れたカードに買い手の名前を書く。	売り手と買い手に分かれ、英語で値段をたずね、物を売り買いする。途中で役を交代する。	"Buyers, ask 'How much is this?'" "Sellers, answer 'It's two euros.'" "Can I have this one? Here you are. Thank you!" "Time's up! Change roles."
まとめ	6	売れた枚数が多かった生徒を何人か前に出し、何を売ったかと、どんな売り文句を使ったかを英語で紹介させる。いちばん売れた物をクラスで1つ選ぶ。最後に Happy King's Day! と全員で言って終わる。	よく売れた物と売り文句を英語で紹介する。友だちの売り文句を聞いて、使ってみたい表現を選ぶ。	"Who sold the most? Come to the front." "What did you sell? How did you sell it?" "Good! 'It's only one euro!'" "Everyone, Happy King's Day!"

📌 板書例

👑 King's Day (April 27)
 ❤️ Everyone wears orange.
 On this day, anyone can sell things on the street.

Buyer: How much is this?
 Can I have this one?
 Here you are.
 Seller: It's ____ euro(s).
 Thank you!

売り文句の例: It's only one euro! / It's like new!

1 euro / 2 euros

✅ 評価のポイント

- How much is this? / It's ~ euros. を使って、値段のやり取りができたか。
- Can I have this one? / Here you are. で、物とお金の受けわたりを英語で言えたか。
- 売り手として、品名と値段を相手に伝えるように言えたか。

🟡 つまづきへの手だて

- 売りたい物が思いつかない生徒には、教科書・ペン・ボール・マンガなどの絵カードから3枚選ばせる。
- 数字がすぐ出ない生徒のために、値段は1～5ユーロのきりのよい数に限る。
- やり取りが止まる生徒には、買い手と売り手のせりふを書いたカードを手元に置かせ、読みながら行わせる。

🚀 発展

- Discussion の問い If you had a stand at a flea market, what would you sell? に答える。
- 基本セット p.3 の穴埋め Daan's Orange Day を読み、ダーンが何をいくらで売ったかを確認する。
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）で、ソウタとエマの会話を役を交代して3回読む。

📖 使う教材

- 基本セット p.1（読解：The Day the Netherlands Turns Orange）
- 基本セット p.3（マッチング・穴埋め：Daan's Orange Day）
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- このサイトの英語ページの音声



2. 王さまの誕生日と祝日： オランダと日本をくらべる

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

国王の日の日付の変化（8月31日→4月30日→4月27日）を年表にし、日本の天皇誕生日の変化と比べられる。ベアトリクス女王が母の誕生日を使い続けた理由を英語で説明し、Both countries ～. But in the Netherlands, ～. の形で共通点とちがいを発表できる。

準備

- 基本セット p.1（読解：The Day the Netherlands Turns Orange）を人数分印刷（第2段落を使う）
- 年表ワークシート（オランダと日本を上下に並べて書ける2段の年表）
- 日本の天皇誕生日の日付の変化を調べる資料（社会科の資料集、タブレットなど）
- 記事の「国王の日の由来」「国王の日の歴史」の節（先生用）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	Whose birthday is King's Day? と問い、本文の第2段落を読ませる。今の国王の日は4月27日で国王ウィレム＝アレクサンダーの誕生日だが、始まりは1885年の5歳の王女ウィルヘルミナの誕生日だったことを確認する。When a new king or queen comes, the date often changes. の文に線を引かせる。	第2段落を読み、祝日のもとになった誕生日がだれのものかを答える。日付が変わることを示す文に線を引く。	"Whose birthday is King's Day?" "Yes, King Willem-Alexander's. But the story began in 1885." "Underline this sentence. When a new king or queen comes, the date often changes." "Let's make a timeline."
展開1	10	年表ワークシートの上段に、オランダの祝日の変化を書かせる。1885年8月31日（王女ウィルヘルミナの5歳の誕生日・プリンセスの日）、1891年（女王の日）、1949年（ユリアナ女王の誕生日の4月30日）、1980年（ベアトリクス女王が4月30日が続ける）、2014年（国王の誕生日の4月27日・国王の日）を、英語の短い文で書かせる。8月31日が学校の夏休みの最終日で、子どものお祭りとして人気が出たことも補う。	オランダの祝日の日付と名前の変化を、年表に英語で書く。	"In 1885, it was Princess's Day, on August 31." "In 1949, the date moved to April 30." "In 2014, it became King's Day, on April 27." "Write each event in one short sentence."
展開2	10	年表の下段に、日本の天皇誕生日の日付の変化を調べて書かせる。資料で確かめた年と日付だけを書くよう指示し、出典を欄外に書かせる。今の天皇誕生日は2月23日で、日本でも天皇が代わると日付が変わることを確認する。書き終えたら、班で年表を見せ合って内容を確認させる。	資料で天皇誕生日の変化を調べ、同じ形の年表を作る。班で見比べて確かめる。	"Now look at Japan. The Emperor's Birthday is February 23 now." "In Japan, the date changes with a new emperor, too." "Check the dates in your book. Write where you found them." "Show your timeline to your group."
展開3	7	ベアトリクス女王の誕生日は1月31日なのに、33年間4月30日に女王の日を祝ったことを紹介し、Why did she keep April 30? と問う。母への敬意からだったこと、冬の1月は外でのお祭りに向かなかったことの2つの理由を、because を使って英語で書かせる。	ベアトリクス女王が4月30日が続けた理由を2つ、英語で書く。	"Queen Beatrix was born on January 31." "But Queen's Day stayed on April 30. Why?" "She kept the date because of respect for her mother." "What about the weather in January?"
まとめ	8	2つの年表を見比べ、Both countries ～. But in the Netherlands, ～. の形で共通点とちがいを書かせる（例：Both countries have a holiday on the birthday of their king or emperor. But in the Netherlands, people wear orange and sell things on the street.）。班で1つ選んで発表させる。	年表をもとに比較の文を書き、班で1つ選んで発表する。	"Compare your two timelines." "Both countries have a holiday on the birthday of their king or emperor." "But in the Netherlands, people wear orange and sell things on the street." "Each group, share one sentence."

板書例

King's Day : the date changes

1885 Aug. 31 Princess's Day (Wilhelmina, 5 years old)
1891 Queen's Day
1949 Apr. 30 (Queen Juliana's birthday)
1980 Queen Beatrix keeps Apr. 30
2014 Apr. 27 King's Day (King Willem-Alexander)

Japan : The Emperor's Birthday → now Feb. 23（資料で確かめた年表）

Why did Queen Beatrix keep April 30?

- ① because of respect for her mother
- ② because January is winter（外のお祭りに向かない）

Both countries _____.

But in the Netherlands, _____.

評価のポイント

- 国王の日の日付の変化を、年・日付・名前のずれなく年表にまとめられたか。
- 天皇誕生日の年表を、資料で確かめた内容だけで作れたか。
- ベアトリクス女王の理由を because で説明し、Both countries ～. But ～. で比較できたか。

つまずきへの手だて

- 年表を英語で書けない生徒には、年と日付だけを書かせ、文は Queen's Day / King's Day などの名前だけでよいとする。
- 調べ方に迷う生徒には、資料集の「国民の祝日」のページを先に示す。
- 比較文が書けない生徒には、Both countries have a holiday on _____. の空所だけを埋めさせる。

発展

- Discussion の問い Should a national holiday change when the leader changes? What are the good and bad points? について、よい点と悪い点を2つずつ英語で書く。
- オランダのオレンジは果物ではなく、南フランスの地名オランジュから来ていることを本文の第3段落で読み、王家の名前と国の色の関係を英語で説明する。
- 英語ページのクイズ5問と、基本セット p.2（True or False 4問）で内容を確認する。

使う教材

- 基本セット p.1（読解：The Day the Netherlands Turns Orange）
- 基本セット p.2（4択・True or False）
- このサイトの英語ページ（音声・クイズ）
- 社会科の資料集（天皇誕生日の日付）